

# 倉敷市の財政

(財政状況の公表)

平成20年度 予算の概要  
平成19年度 下半期財政運営状況

平成20年5月30日

倉敷市総合政策局企画財政部財政課

## 平成20年度当初予算(案)の概要

### 1 あらまし

平成20年度の当初予算は、「倉敷市第五次総合計画・後期基本計画」の着実な推進を基本としながらも、平成20年度初頭に市長選挙が予定されていることから、骨格予算としております。このため、政策的な経費については、年度当初から予算化する必要がある経費を除き当初予算での計上を極力見送り、今後の補正予算で検討することとしておりますが、扶助費をはじめとする義務的経費については、市民生活に支障をきたすことのないよう所要額を計上しております。

まず、歳入については、原油をはじめとする資源価格の高騰やアメリカのサブプライム住宅ローン問題など今後の景気動向に関する懸念材料があるものの、市税収入は、固定資産税などの増額により、前年度当初予算に比べて約13億円の増加を見込んでおります。また、地方交付税についても、地方の財源を増額確保するという国の地方財政計画に基づき、交付税の代替財源である臨時財政対策債との合計では、前年度当初予算に比べて約11億円の増加を見込んでおります。なお、今後の補正予算での財源を確保するため、当初予算では財政調整基金の取崩しを行っておりません。

また、現在、国において道路特定財源の暫定税率の存廃を巡って議論がなされており、この動向によっては道路の新設・改良ばかりでなく、道路維持管理経費の財源、さらにはその他の事業の財源にも影響が及ぶことが懸念されます。

一方、歳出では、生活保護費や児童手当等の扶助費や施設の維持管理費等について年間所要額を計上しているほか、平成20年度の支出について既に債務負担行為の設定が行われている事業費や市長選挙、市議会議員選挙等の選挙費などを計上しております。

また、平成21年秋開催予定の「ブレ国民文化祭」までに改修の必要がある市民会館の耐震補強等改修事業や、瀬戸大橋開通20周年記念事業など実施時期が決まっているもののほか、年度当初から実施する必要がある、地域子育て支援拠点事業、企業誘致推進事業、放課後子ども教室推進事業などの経費を計上しております。

この結果、一般会計の当初予算額は1,430億7,800余万円、前年度と比較すると151億6,100余万円の減額、率にして9.6%のマイナスとなっております。

本市の財政は、引き続き扶助費などの義務的経費が増加するなど非常に厳しい状況が見込まれており、本年度においても、限られた財源の中で市民サービスを効果的・効率的に行うことができるよう、各部局が主体的に事業の優先順位を考える「枠配分予算」に取り組みました。今後におきましても、こうした行財政改革への取り組みをすすめ、財政の一層の健全化に努めてまいります。

# 各会計別当初予算の内訳

(単位 千円)

区	分	20年度 A	19年度 B	比較(A-B) C	増減率 C/B
一	般 会 計	143,078,213	158,239,311	15,161,098	9.6 %
特 別 会 計	公共用地先行取得事業	202	11,244	11,042	98.2
	下水道事業	25,665,775	29,586,462	3,920,687	13.3
	国民健康保険事業	42,326,726	45,548,779	3,222,053	7.1
	住宅新築資金等貸付	1,165,146	1,142,732	22,414	2.0
	老人保健医療事業	4,581,670	40,400,483	35,818,813	88.7
	企業団地造成事業	10,340	244,935	234,595	95.8
	農業集落排水事業	101,470	101,881	411	0.4
	介護保険事業	27,882,366	27,548,802	333,564	1.2
	母子寡婦福祉資金貸付	77,500	77,800	300	0.4
	後期高齢者医療事業	4,575,850		4,575,850	皆増
		小 計	106,387,045	144,663,118	38,276,073
財 産 区 会 計	84,863	97,702	12,839	13.1	
企 業 会 計	水 道 事 業	12,738,489	12,746,450	7,961	0.1
	児島モーターボート競走事業	25,568,419	42,042,183	16,473,764	39.2
	児島市民病院事業	2,406,092	2,456,072	49,980	2.0
	小 計	40,713,000	57,244,705	16,531,705	28.9
合 計	290,263,121	360,244,836	69,981,715	19.4	

一般会計 ... 市が行う仕事の中心となる部分の会計

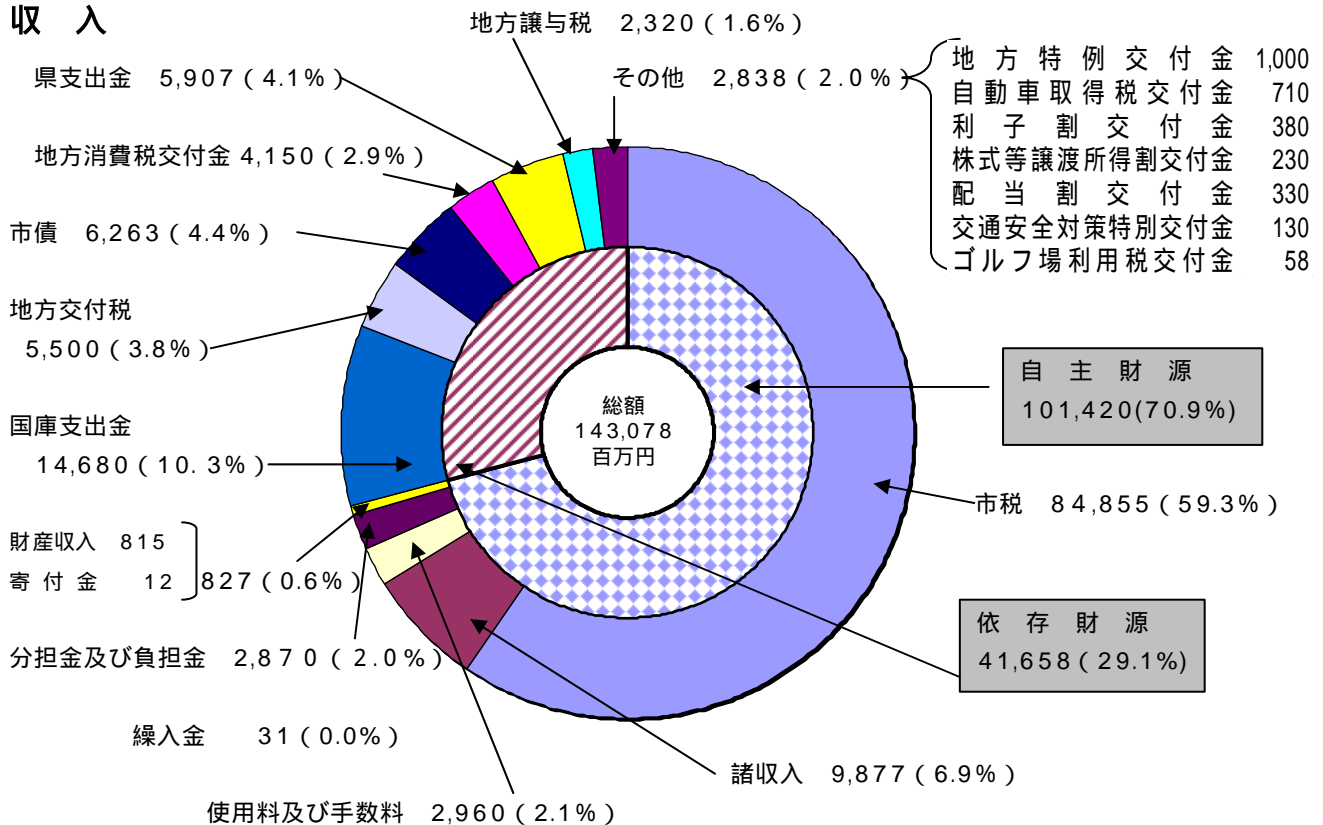
特別会計 ... 特定の事業を行うとき、特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と区別している会計

企業会計 ... その事業によって得られる収入で支出を賄う、独立採算の会計

\* 各表の平成17年度以前の当初予算額には、旧船穂町、旧真備町は含んでいません

# 一般会計予算の内訳

## 収入



- ・市税.....収入の中心となるもので、市民税（個人，法人），固定資産税，都市計画税などです。
- ・諸収入.....預金利子，貸付金元利収入，収益事業収入などです。
- ・市債.....学校，公園，道路など公共施設の整備に活用します。国や銀行などから借り入れるもので，市民が将来にわたり公平に負担をする趣旨のものですが，慎重な取り扱いが必要です。

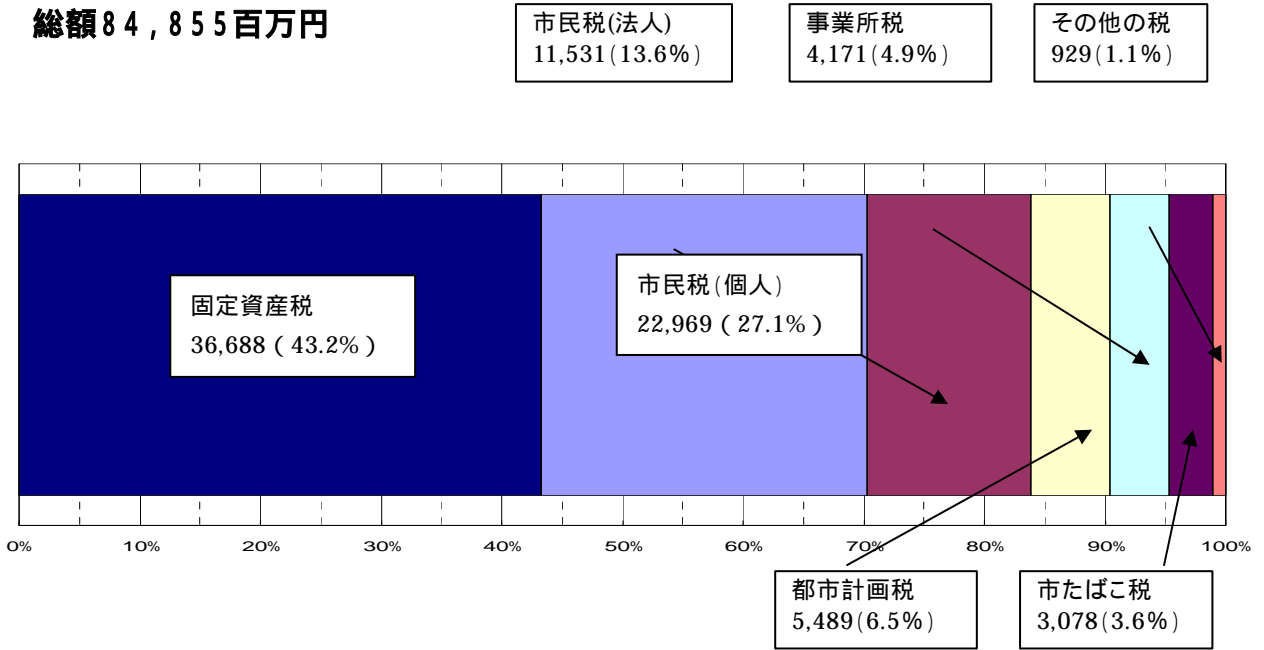
## 予算額(収入)の推移 (当初予算額)

(単位 百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
市税	67,604	71,501	76,379	83,520	84,855
分担金及び負担金	2,496	2,564	2,845	2,802	2,870
使用料及び手数料	3,178	3,090	2,986	2,932	2,960
財産収入・寄付金	396	649	392	460	827
繰入金	4,072	2,920	9,196	6,396	31
諸収入	15,967	15,422	15,420	14,527	9,877
計	93,713	96,146	107,218	110,637	101,420
地方消費税交付金	4,015	4,100	4,390	4,350	4,150
地方交付税	12,400	11,000	5,300	4,200	5,500
国庫支出金	17,106	16,514	15,083	15,125	14,680
県支出金	2,790	4,150	4,437	5,736	5,907
市債	17,563	10,516	12,893	13,206	6,263
地方譲与税	2,719	3,640	5,660	2,290	2,320
その他	3,263	3,312	4,032	2,695	2,838
計	59,856	53,232	51,795	47,602	41,658
合計	153,569	149,378	159,013	158,239	143,078

# 市税収入の内訳

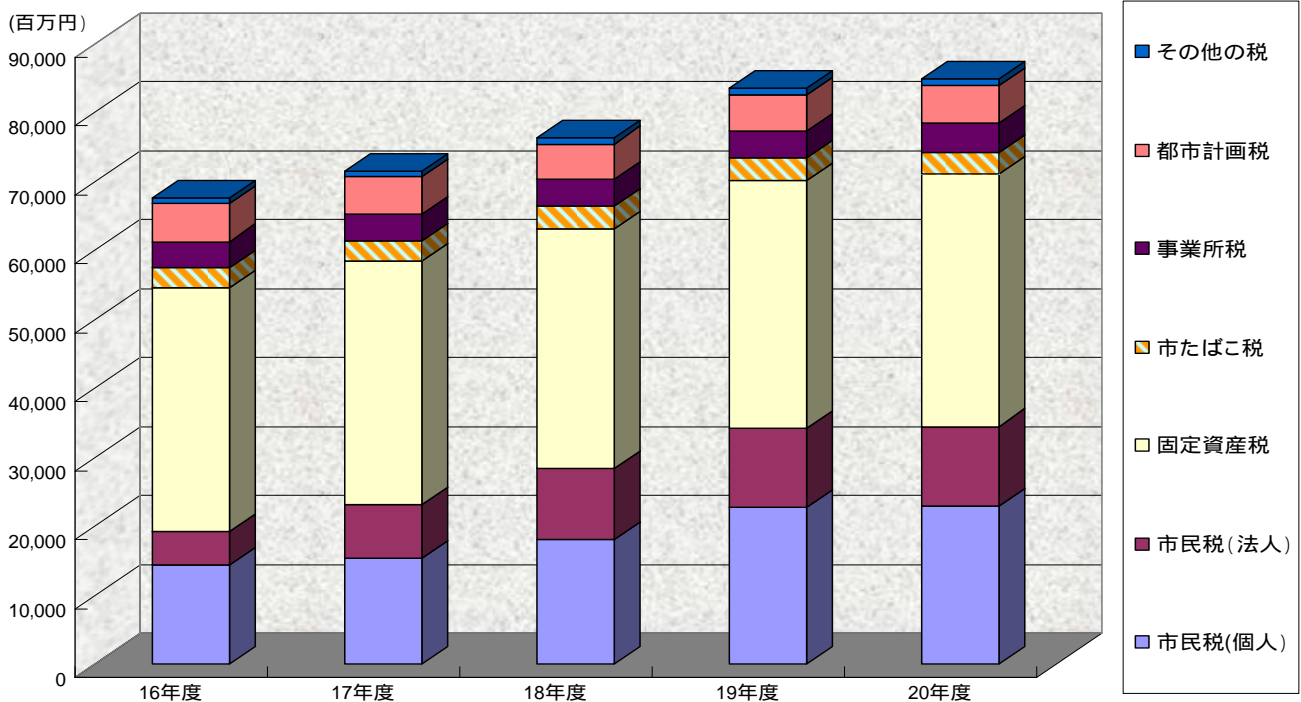
総額 84,855 百万円



## 市税収入の推移 (当初予算額)

(単位 百万円)

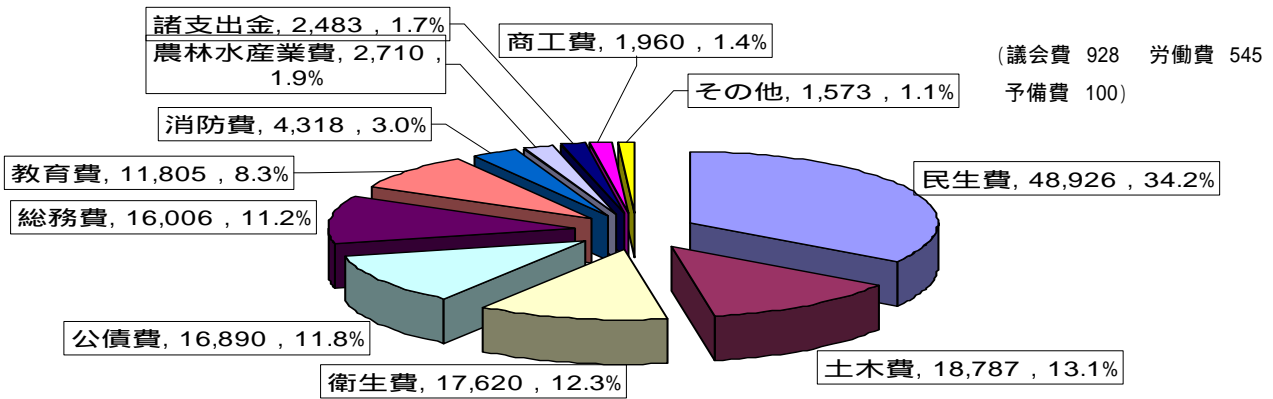
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
市民税(個人)	14,447	15,335	18,015	22,733	22,969
市民税(法人)	4,736	7,774	10,307	11,494	11,531
固定資産税	35,357	35,425	34,877	35,973	36,688
市たばこ税	2,916	2,825	3,210	3,216	3,078
事業所税	3,876	3,937	3,966	3,987	4,171
都市計画税	5,495	5,405	5,117	5,215	5,489
その他の税	777	800	887	902	929
<b>合計</b>	<b>67,604</b>	<b>71,501</b>	<b>76,379</b>	<b>83,520</b>	<b>84,855</b>



# 支 出

## 目的別内訳

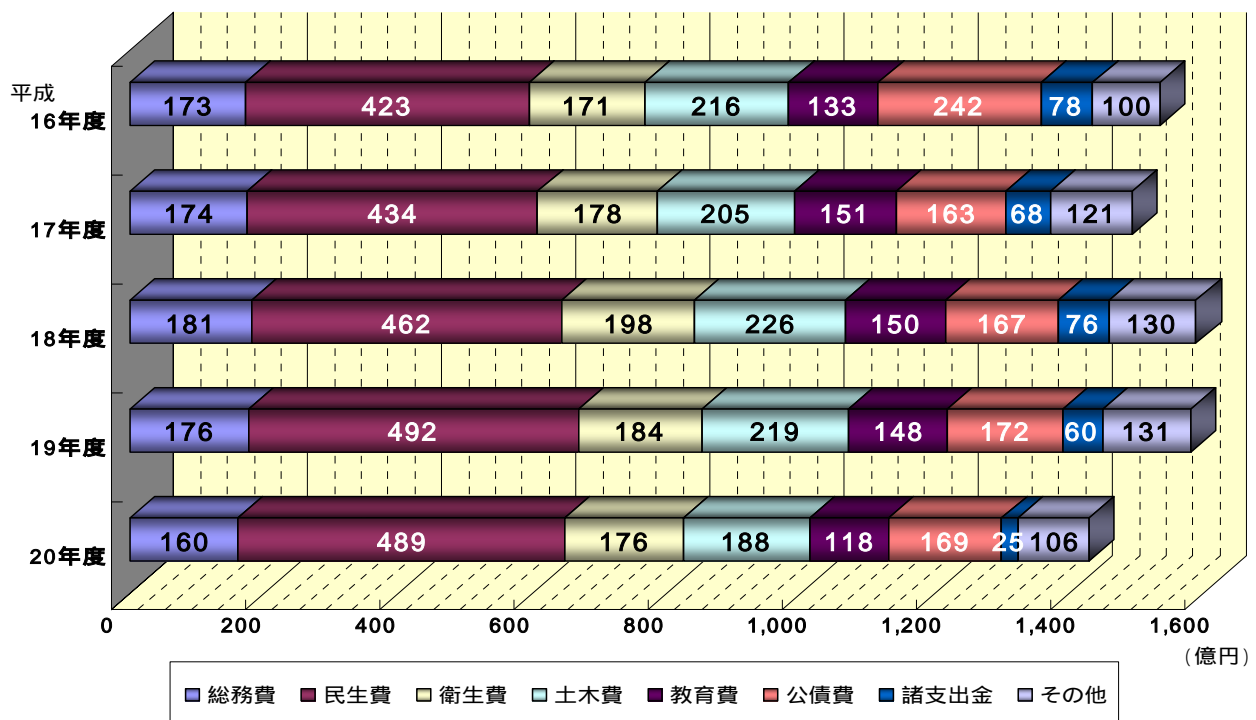
総額 143,078 百万円



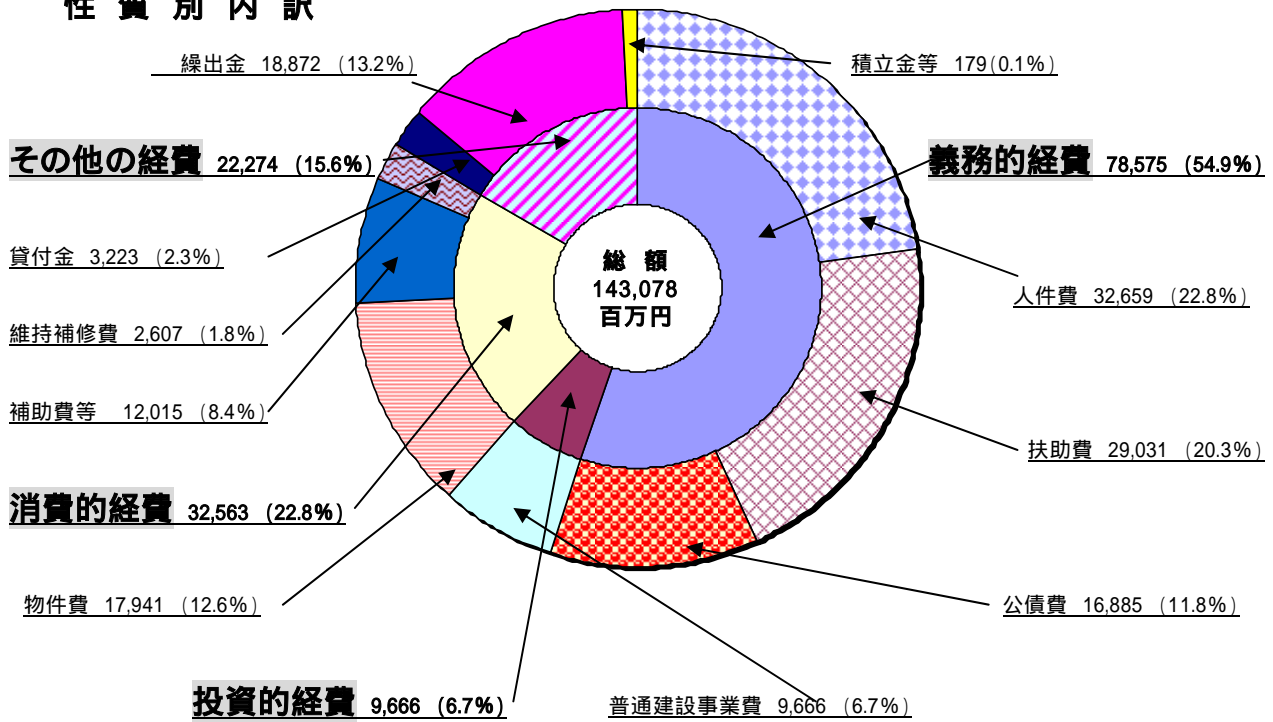
### 目的別予算額の推移 (当初予算額)

(単位 百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
総務費	17,349	17,405	18,129	17,599	16,006
民生費	42,331	43,402	46,247	49,178	48,926
衛生費	17,062	17,854	19,823	18,436	17,620
土木費	21,593	20,539	22,639	21,906	18,787
教育費	13,291	15,106	14,948	14,781	11,805
公債費	24,188	16,259	16,651	17,229	16,890
諸支出金	7,753	6,758	7,573	6,016	2,483
その他	10,002	12,055	13,003	13,094	10,561
<b>合 計</b>	<b>153,569</b>	<b>149,378</b>	<b>159,013</b>	<b>158,239</b>	<b>143,078</b>



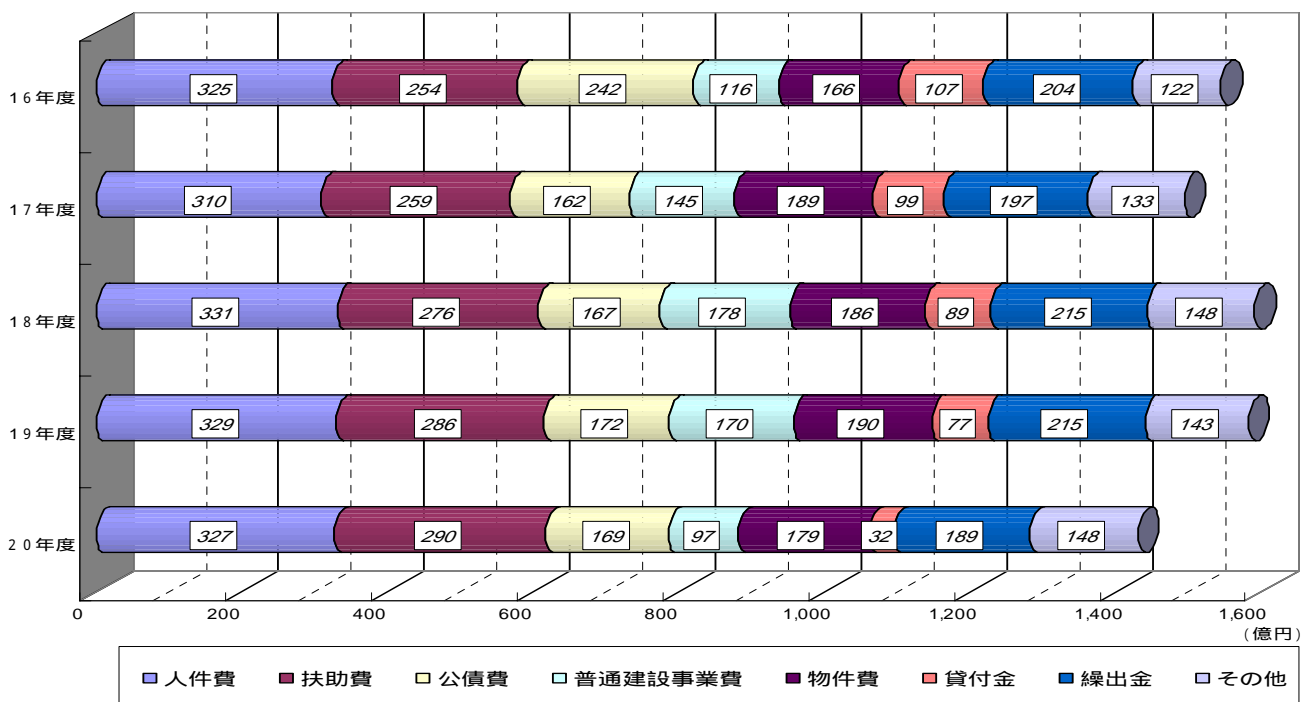
## 性質別内訳



## 性質別予算額の推移 (当初予算額)

(単位 百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
人 件 費	32,488	30,982	33,080	32,916	32,659
扶 助 費	25,352	25,929	27,631	28,614	29,031
公 債 費	24,183	16,255	16,648	17,223	16,885
普 通 建 設 事 業 費	11,646	14,538	17,821	17,024	9,666
物 件 費	16,613	18,874	18,621	18,973	17,941
貸 付 金	10,727	9,874	8,907	7,714	3,223
繰 出 金	20,378	19,665	21,510	21,513	18,872
そ の 他	12,182	13,261	14,795	14,262	14,801
<b>合 計</b>	<b>153,569</b>	<b>149,378</b>	<b>159,013</b>	<b>158,239</b>	<b>143,078</b>



# 主 な 施 策

( の事業は新規事業 )

## 一般会計

### 総務費 国際交流や広報、情報化、防災対策、選挙など

・ 公聴広報費（広報くらしき発行経費など）	1 億 2,113 万円
・ 国際交流事業費（私費留学生生活支援事業費など）	4,443 万円
・ 平和啓発事業費（「長崎平和大使」実施経費など）	385 万円
・ 市民活動推進費（地域集会所設置費補助金など）	1 億 4,301 万円
・ チボリ・ジャパン(株)貸付金	24 億 1,610 万円
・ 防災対策費（自主防災組織育成事業など）	3 億 4,187 万円
・ 県知事選挙費	1 億 1,954 万円
・ 市長選挙費	1 億 818 万円
・ 市議会議員選挙費	2 億 3,693 万円

### 民生費 高齢者、障害者、児童などの福祉、市民文化・スポーツの振興、人権政策の推進など

・ 介護保険事業特別会計繰出金	41 億 696 万円
・ 国民健康保険事業特別会計繰出金	30 億 1,299 万円
・ くらしき健康福祉プラザ管理運営経費（健康・福祉を支援する拠点施設）	1 億 5,270 万円
・ 後期高齢者医療事業特別会計繰出金	9 億 7,527 万円
・ 老人保健医療事業特別会計繰出金	3 億 3,300 万円
・ 児童手当（小学校修了前まで）	42 億 1,944 万円
・ 児童扶養手当（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）	18 億 7,039 万円
・ 子育て支援事業費（妊婦支援・出産祝い事業費など）	1,818 万円
・ 文化振興財団運営経費（倉敷音楽祭など事業費及び管理費）	2 億 9,514 万円
・ 市民会館耐震補強等改修事業費	5 億 7,602 万円
・ コールセンター運営経費	6,001 万円
・ 男女共同参画推進センター事業費	3,079 万円

### 衛生費 健康づくり、環境対策、ごみ処理など

・ 保健所関連経費	31 億 6,851 万円
保健活動費（地域保健活動経費や未熟児養育医療費の給付など）	2 億 3,047 万円
緊急医療対策費（在宅当番制、病院群輪番制、休日夜間急患センター運営経費など）	1 億 7,363 万円
保健事業対策費（健康増進事業、がん検診などの経費）	11 億 2,325 万円
感染症対策費（麻しん、風しんなどの予防接種経費）	6 億 4,558 万円
・ 福祉医療費（乳幼児・ひとり親家庭等・重度心身障害者・老人医療費の助成）	19 億 6,855 万円
・ 溜川水質浄化事業費（水質調査経費など）	700 万円
・ 産業廃棄物対策事業費（産業廃棄物監視指導員報酬など）	1 億 2,257 万円
・ ごみ処理施設（PFI）関係経費	19 億 7,017 万円
・ 水島清掃工場管理運営委託事業費	6 億 6,993 万円

### 農林水産業費 農業・漁業などの振興・育成

・ 農業振興費（農産園芸振興対策費補助金など）	1 億 1,254 万円
・ 農業施設新設改良費（農道、水路、ため池等の新設改良など）	6 億 1,363 万円
・ 水産業振興費（漁業体験学習事業、稚魚放流など）	4,319 万円



## 商 工 費 商工業の育成、観光の振興

- ・ 商工業振興費（商工業活性化事業費、企業誘致推進事業費など） 9億 2,979万円
- ・ 観光事業費（旧東大橋家整備事業費、観光客誘致事業費、観光施設管理費など） 6億 1,650万円

## 土 木 費 道路、公園などの整備

- ・ 道路新設改良費（柏島道越線、美観地区電線類地中化事業など） 13億 4,542万円
- ・ 街路事業費（生坂二日市線など） 10億 2,121万円
- ・ 公園整備費（溜川公園など） 2億 6,858万円
- ・ 阿知3丁目東地区市街地再開発事業費 1億 500万円
- ・ 河川新設改良費（河川・排水ポンプ・水門等の新設改良など） 6,537万円

## 消 防 費 消火・救急活動、防災対策

- ・ 消防車両等購入事業費（救助工作車） 1億 19万円
- ・ 救急高度化推進整備事業費（高規格救急車購入費など） 5,773万円
- ・ 非常備消防施設整備事業費（消防ポンプ自動車購入費など） 1,691万円

## 教 育 費 学校教育や文化財保護、青少年教育など

- ・ 教育用コンピュータ整備事業費（教育用コンピュータ借上料など） 2億 581万円
- ・ よい子いっぱい支援事業費（生活支援員配置事業費） 1億 24万円
- ・ 英語教育総合推進事業費（英語講師等44名配置事業費など） 2億 6,274万円
- ・ 不登校等対策事業費（スクールカウンセラー配置事業費など） 6,999万円
- ・ 青少年教育費（放課後子ども推進事業費など） 2億 5,593万円
- ・ 文化財保護費（伝統的建造物群等保存修理事業費など） 9,187万円
- ・ 公民館費（公民館講座実施事業など） 6億 1,070万円

### 特別会計

- ・ 下水道事業特別会計（公共下水道・流域下水道整備、浄化槽対策事業など） 256億 6,577万円
- ・ 国民健康保険事業特別会計（保険給付費など） 423億 2,672万円
- ・ 住宅新築資金等貸付特別会計 11億 6,514万円
- ・ 老人保健医療事業特別会計（医療給付費など） 45億 8,167万円
- ・ 企業団地造成事業特別会計 1,034万円
- ・ 農業集落排水事業特別会計 1億 147万円
- ・ 介護保険事業特別会計（保険給付費など） 278億 8,236万円
- ・ 母子寡婦福祉資金貸付特別会計 7,750万円
- ・ 後期高齢者医療事業特別会計 45億 7,585万円

# 平成19年度下半期財政運営の状況

## 各会計予算の執行状況

(平成20年3月31日現在)

(単位 百万円)

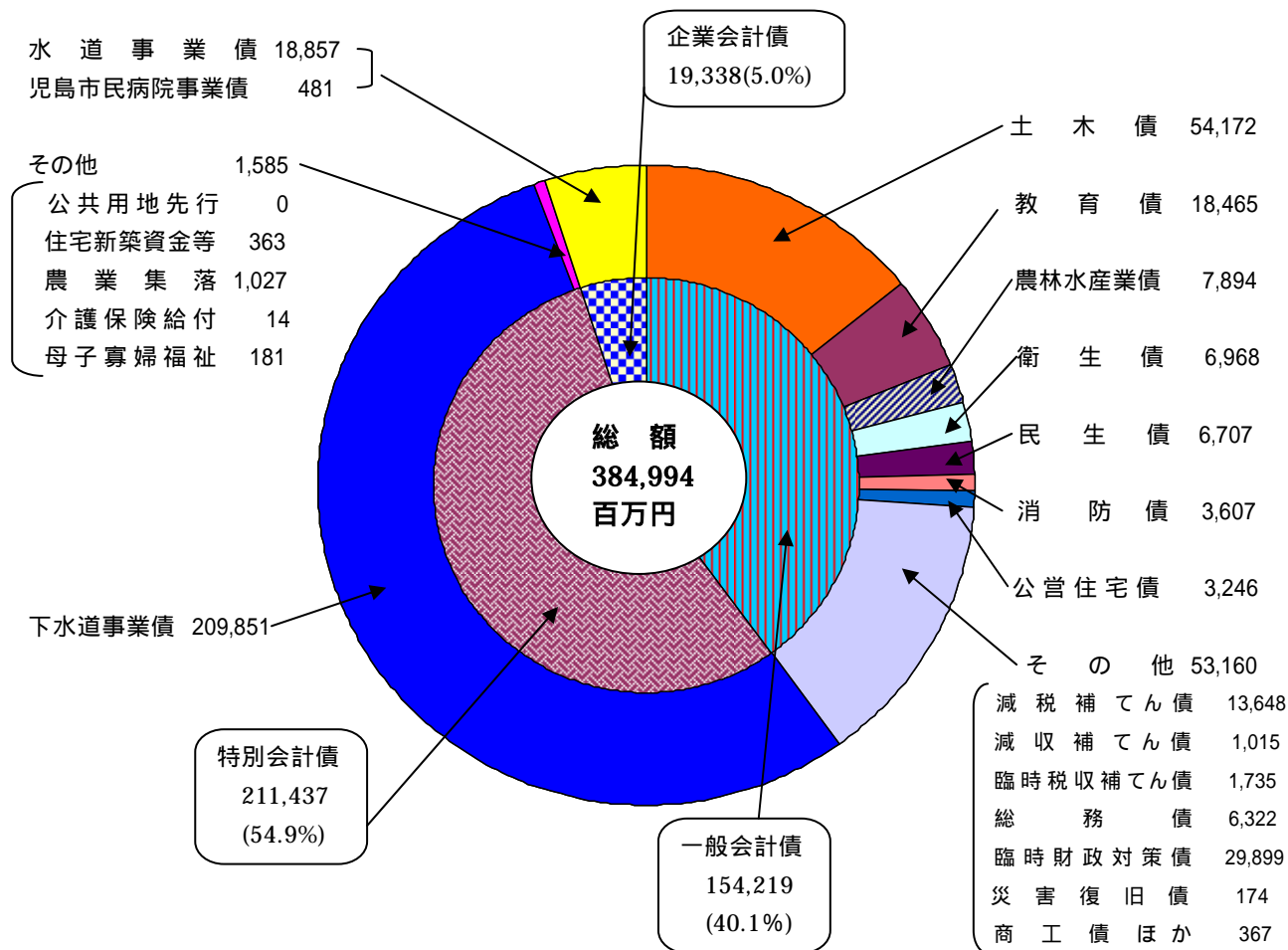
区 分	予算現額	収 入		支 出			
		収入済額	収納率	支出済額	支出率		
一 般 会 計	169,751	141,729	83.5%	135,719	80.0%		
特 別 会 計	公共用地先行取得事業	11	0	0.0%	11	100.0%	
	下水道事業	38,240	14,735	38.5%	33,356	87.2%	
	国民健康保険事業	46,687	40,510	86.8%	42,580	91.2%	
	住宅新築資金等貸付	1,136	77	6.8%	1,135	99.9%	
	老人保健医療事業	41,199	35,221	85.5%	36,983	89.8%	
	企業団地造成事業	245	13	5.3%	245	100.0%	
	農業集落排水事業	102	18	17.6%	89	87.3%	
	介護保険事業	27,703	22,594	81.6%	24,558	88.6%	
	母子寡婦福祉資金貸付	78	92	117.9%	47	60.3%	
	計	155,401	113,260	72.9%	139,004	89.4%	
財 産 区 会 計	95	81	85.3%	68	71.6%		
区 分	収 入			支 出			
	予算現額	収入済額	収納率	予算現額	支出済額	支出率	
企 業 会 計	水 道 事 業	10,271	9,981	97.2%	13,407	12,365	92.2%
	児島モーターボート競走事業	42,557	40,317	94.7%	44,265	41,936	94.7%
	児島市民病院事業	2,366	2,409	101.8%	2,342	2,266	96.8%
	計	55,194	52,707	95.5%	60,014	56,567	94.3%

## 一時借入金の現在高(平成20年3月31日現在)

(単位 百万円)

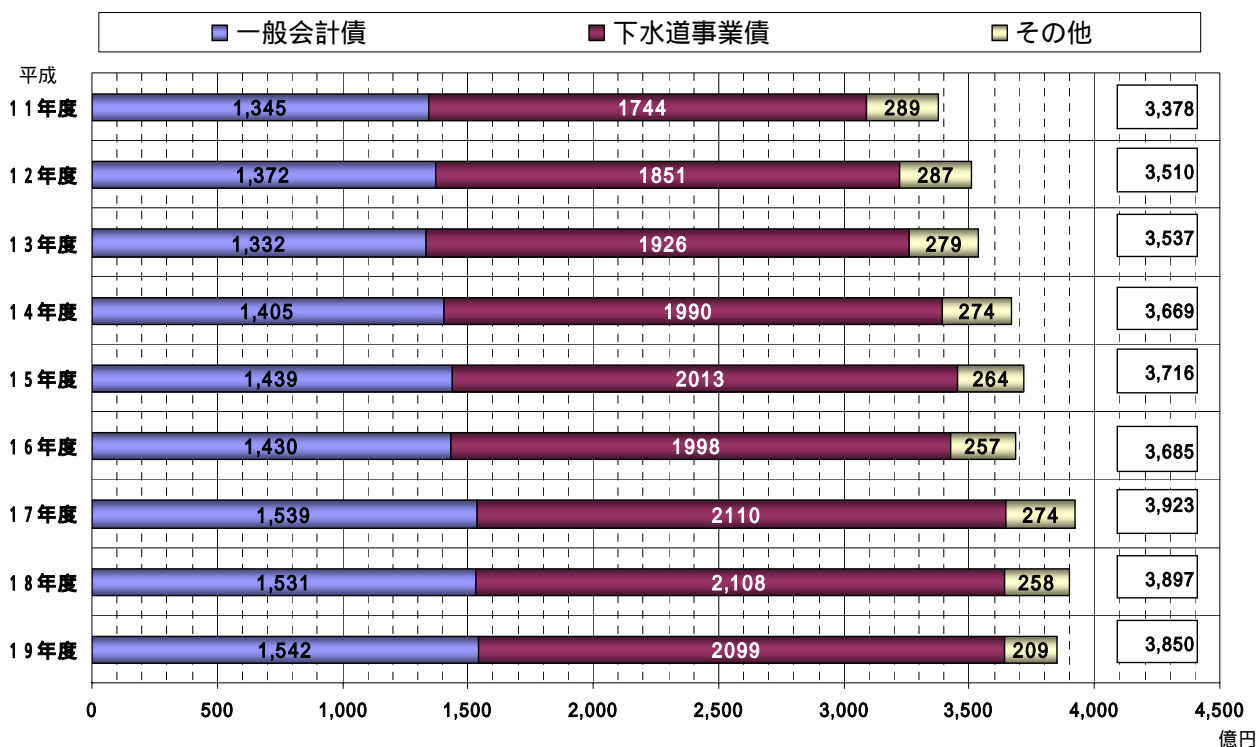
会 計 区 分	予算で定めた限度額	現 在 高
一 般 会 計	30,000	
水 道 事 業	200	
児島モーターボート競走事業	30	
児島市民病院事業	350	

### 市債の現在高(平成19年度末見込額) (単位 百万円)



### 市債残高の推移

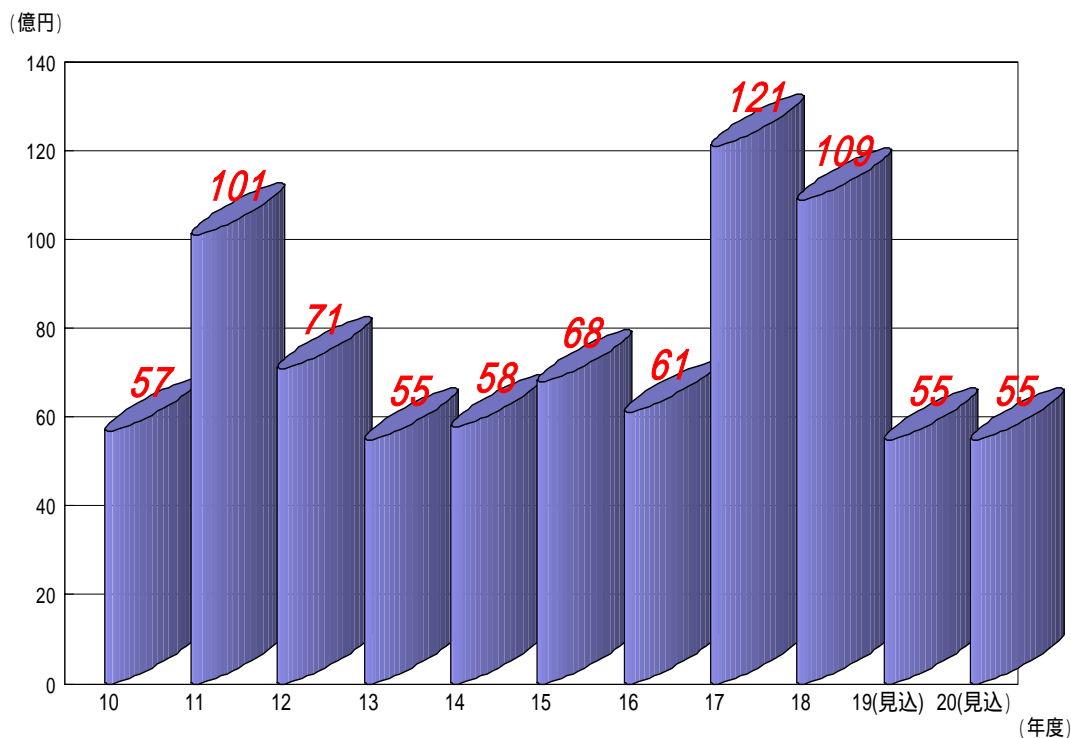
\* H11～16年度については旧船穂町，旧真備町は含んでいません



## 財政調整基金の状況

\* H10～16年度については旧船穂町，旧真備町は含んでいません

### 年度末残高の推移



家計の貯金に相当する財政調整基金の残高が，平成19年度末では大きく減少する見込です。これは，前年度の決算剰余金である繰越金が減少したことや市債残高が増加することのないよう，市債の発行を抑制していることが主な要因となっています。

今後においても，「倉敷市第五次総合計画後期基本計画（行財政改革編）実施計画」を着実に推進し，一定額（最低でも30億円）の財政調整基金残高が確保できるよう，更なる経費の節減等に努めてまいります。

### 主な施設整備等の概況（平成19年度事業）

(単位 百万円)

施設設備名	事業年度	規模等	総事業費	財源内訳		
				国・県補助	市債	市費など
柏島道越線 (玉島阿賀崎～玉島道越地内)	16～26	L=970.0m W=14.0～26.0m	192 ( 7,850 )	6 ( 3,907 )	160 ( 3,569 )	26 ( 374 )
生坂二日市線 (福島～生坂地内)	6～21	L=1,388.0m W=22.0～32.5m	530 ( 9,341 )	280 ( 4,485 )	212 ( 4,073 )	38 ( 783 )
溜川公園 (玉島地内)	16～20	近隣公園 A=2.0ha	212 ( 1,278 )	93 ( 419 )	107 ( 594 )	12 ( 265 )
臨港消防署建設	18～19	RC2階建 762 m <sup>2</sup>	138 ( 298 )	0 ( 69 )	98 ( 188 )	40 ( 41 )
大高小・葦高小学校分離校舎建設	17～19	RC3階建 9,959 m <sup>2</sup>	1,128 ( 3,005 )	354 ( 556 )	637 ( 2,203 )	137 ( 246 )
長尾小学校校舎建設	15～19	RC4階建 7,803 m <sup>2</sup>	33 ( 1,565 )	0 ( 355 )	0 ( 1,087 )	33 ( 123 )
真備陵南高等学校屋内運動場建設	18～19	RS平屋建 866 m <sup>2</sup>	205 ( 234 )	0 ( 0 )	182 ( 209 )	23 ( 25 )

( ) は 全 体 事 業 費